

9月9日は「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、「**救急の日**」といいます。

救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と意識を深めることを目的として、昭和57年に厚生労働省によって定められた“**救急について知ろう!**”という日です。

子どもは好奇心旺盛なうえ、危険を察知出来ません。いざという時に慌てないように怪我の応急処置を知っておきましょう。



## ～応急処置の方法～



### 口腔内の怪我

口の中をすすぎ、傷の部位や深さ、歯が揺れたり折れたりしていないかを確認します。歯が折れた場合は、乾燥させないように牛乳に入れて歯科へ行きましょう。唇の腫れは濡れタオルなどで冷やします。



### 鼻血

子どもを座らせて頭を前に傾けます。小鼻をつまみ、圧迫止血をしましょう。子どもには口呼吸させ鼻から口へ降りてきた血は吐き出させます。冷たいタオルや布に包んだ氷を鼻に当て、血管を収縮させて出血を止めます。

\*上を向くと血が喉に流れてしまうので注意しましょう。



### すり傷・切り傷



しっかり水で洗い、汚れを落としましょう。洗浄後、残った泥や砂を清潔なガーゼで出来るだけ取り除きます。出血が多い場合は、傷口を心臓より高くし、清潔なガーゼで圧迫止血をしましょう。

### トゲが刺さった時

消毒したピンセットで抜きます。5円や50円硬貨の穴の部分当て、硬貨を押し付けながらトゲを浮き上がらせると抜きやすいです。



### 熱中症

風通しがよく、涼しい場所に移して衣類を緩めて安静にし、身体を冷やしましょう。(湿ったタオルで身体を拭いたり、首・脇の下・足の付け根にアイスノンを当てて冷やします。) 水分補給は少量ずつ頻回に与えるようにします。

予防対策として、野外に出る時は気温や天気予報に気を配り、帽子や水筒を持参しましょう。

また、普段から十分な睡眠をとり、朝食をきちんと食べる事も大切です。

みそ汁は塩分補給におすすめです!



### やけど



痛みや熱さを感じなくなるまで流水で15分位冷やしましょう。氷は冷やしすぎてしまう事があるので注意が必要です。



まだまだ残暑が厳しいので体調をみながら無理せず過ごしましょう。

病後児保育室くろーばーの利用には事前登録が必要です。登録は随時受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。

